



教会は平成29年3月に完成。



しまね建築・住宅コンクール最優秀賞

広瀬基督教会

しまね景観賞優秀賞 (建築・住宅コンクール奨励賞も受賞)

さぎの湯荘別邸「鷺泉」

地域に溶け込むことを意識

月遅れのひな祭り。城下町の面影を残す広瀬のまちには色鮮やかなお雛様が飾られています。その民家に挟まれた一角に広瀬基督教会が、町並みに溶け込んでたずずんできます。

同教会は平成29年度しまね建築・住宅コンクールの最優秀賞を受賞。モダンな設計の中にも地元産の素材を生かした温かみのある建築が特徴です。

内部に入ると、地元産杉を使った凹凸のある壁が心地よい香りと温もりを醸し出しています。6メートル以上もある天井からは、あえて近代的なLEDを使わない電球色のライトが、自然光と合わさって室内をやさしく包み込んでいます。

同コンクールの審査員は「地域産材や石州瓦のタイル、地元鍛冶屋さんの十字架など、地元素材を利用した点が、今後の県内施設のモデルになる」と評価しています。

温故知新がコンセプト

「里山の風景的な調和と、周辺の足立美術館や安来節演芸館の外観との連続性を意識して設計しました」と話すのは株式会社鷺の湯荘専務の田辺大輔さん。平成28年9月に完成した別邸「鷺泉」が、平成29年度しまね景観賞の優秀賞を受賞しました。

別邸は、食事処やラウンジがある「母屋」と、宿泊施設となる「蔵」で構成されています。いずれも出雲市にあった築130年の古民家を移築。建物とのバランスにも考



▲別邸は、月山富田城跡の景観も意識して建築されています。

慮し、庭木や庭石なども移設・再利用されています。

田辺専務は「移築にあたってはできる限り復元にこだわりました。民家にあった器も再利用しています。リノベーション(刷新)によって古民家自体の温かみが失われないようにしました。日本人のお客さんからは「懐かしい」、外国人のお客さんからは「日本を感じる」という感想を頂いています」と話します。

市内屈指の観光地であるさぎの湯温泉は周囲を田園に囲まれています。塀のない別邸は広々とした風景に溶け込み、訪れる人を温かく迎え入れてくれます。

編集後記

▼4月から広報の担当をすることになりました。去年の頃は牛の予防注射に回っていたような。それが今では少しずつですが取材に回っています。取材の際は写真を撮りますが、撮影を快く承せていただけると助かります。これから役立つ情報や魅力ある安来を届けますけんよろしくお願ひします。(旬)

▼6年間担当しました広報を離れることになりました。毎月、真っ白な紙面に向き合うことは、不安でもあり、楽しみでもありました。いちばん市民に身近な情報媒体として行政情報を伝えると同時に、市民の意識を変え、行動に結びつけたいと願っていました。広報やすぎにはそういうチカラがあると信じています。(山)

安来市の人口と世帯数 H30.3.31現在

人口合計 / 39,199人
(男:18,785人 女:20,414人)
世帯数 / 14,267世帯

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。

